

自然災害リスク軽減研究センター
研究進捗状況に対する意見書

名城大学 自然災害リスク軽減研究センター (NDRR)

研究進捗状況に対する意見書①

意見書作成者	所属：名古屋大学大学院工学研究科	氏名 伊藤義人
<p>※ 該当するものを一つ選び、□に印 (■ 等) を付してください。 ※ (意見等) 欄には、出来る限り意見等を記入してくださいようお願い致します。</p> <p>(a) 研究の進展状況</p> <p>当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 期待以上に進展している <input checked="" type="checkbox"/> 着実に進展している <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 非常に遅れている</p> <p>(意見等)</p> <p>多少分野間で、進展に差があるようであるが、全体的には着実に進展している。</p> <p>(b) これまでの研究成果</p> <p>① 当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 期待以上の成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 期待された成果をあげつつある <input type="checkbox"/> 期待された成果をあげているとは <input type="checkbox"/> 期待された成果をあげる見込みがない いい難い</p> <p>(意見等)</p> <p>このセンターが出来る前と比べて、組織的な研究推進体制ができており、その成果が出始めており、名城大学の尖端的な部分を担っている。</p> <p>② 研究内容・研究成果の積極的な公表、普及に努めているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 努めている <input type="checkbox"/> 不十分である</p> <p>(意見等)</p> <p>今回の盛況なシンポジウムなど、積極的に研究内容・研究成果の積極的な公表、普及に努めている。HP の今後ますますの充実と、大学内におねる位置づけをしっかりとするとよい。</p>		

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

② 今後の研究計画・方法の妥当性はどうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください.

さらなる研究代表者のリーダーシップを期待したい.

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します.

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる.
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる.
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である.
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない.

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います.

自然災害リスク軽減研究センター内の研究グループ間の連携をさらに強め、今後、自然災害防災のあり方について、個別の研究テーマの進展だけでなく、学際領域での研究テーマの模索とその対応を考えるとよい.

名城大学 自然災害リスク軽減研究センター（NDRR）

研究進捗状況に対する意見書②

意見書作成者	所属： 名古屋大学名誉教授	氏名 大森博司
<p>※ 該当するものを一つ選び、□に印（■等）を付してください。</p> <p>※（意見等）欄には、出来る限り意見等を記入してくださいようお願い致します。</p> <p>(a) 研究の進展状況 当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか。 <input type="checkbox"/> 期待以上に進展している <input checked="" type="checkbox"/> 着実に進展している <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 非常に遅れている</p> <p>（意見等） 着実な研究計画に基づいて研究が遂行されており、今後も同様の堅実な計画遂行が期待できると思います。</p> <p>(b) これまでの研究成果 ① 当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか。 <input type="checkbox"/> 期待以上の成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 期待された成果をあげつつある <input type="checkbox"/> 期待された成果をあげているとはいい難い <input type="checkbox"/> 期待された成果をあげる見込みがない</p> <p>（意見等） (a)でも記載したとおり、所期の研究計画が堅実なものであったためでしょう、着実に研究成果が挙がっていると思います。</p> <p>② 研究内容・研究成果の積極的な公表、普及に努めているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 努めている <input type="checkbox"/> 不十分である</p> <p>（意見等） 報告書に示された膨大な研究報告の記録からも分かるように、研究成果は国内外の研究公表手段により積極的に公開されて来ていると思います。</p>		

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

できないことを目標に掲げても意味のないことです。全体として到達可能な研究目標を掲げて研究を進めてきて来られていると思います。今後も同様の進展を期待しています。

② 今後の研究計画・方法の妥当性はどうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください.

既述の通り、問題はないと考えます。

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します。

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる。
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる。
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない。

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います。

堅実な研究目標の設定と着実な研究遂行努力の跡を感じます。

国内外の関連する研究との比較による、当該研究の位置づけ、仮に同分野での先行研究があればそれとの差異と優位性をより明確に説明、主張することができれば更に優れた、説得力のある研究を遂行できるものと思います。

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 期待以上の達成が見込まれる | <input checked="" type="checkbox"/> 達成が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> 達成が危ぶまれる | <input type="checkbox"/> 達成する見込みはない |

(意見等)

研究目的に対して着実に研究が進められているので、研究期間内での研究目的の達成が見込まれる。ただし、始めたばかりの研究テーマもあるため一層の努力が望まれる。

② 今後の研究計画・方法の妥当性どうか.

- | |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である |
| <input type="checkbox"/> 問題がある |

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください。

研究計画として、豪雨の発生機構から都市河川の出水機構、流出抑制方策、堤防の破堤現象、土石流の抑制策まで系統的で重要な課題を設定しており、また、研究方法としては、データ解析、現地調査、室内実験、理論解析が組み合わされて、有用な成果が期待でき、妥当性が高いと判断する。

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します。

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる。 |
| <input type="checkbox"/> B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。 |
| <input type="checkbox"/> C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない。 |

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います。

豪雨および水害事象の発生機構とリスク軽減方策に関する研究として、豪雨災害の発生メカニズムとその発生条件を明らかにする基礎的研究から、被害の軽減方策の検討まで系統だった研究テーマが設定されており、水害現象の解明についてはデータ解析、現地調査、室内実験が順調に進行している。現象の解明は被害軽減方策を考えるうえで必須であることから重要であるが、今後は、防災減災に研究成果を活かすために、豪雨の地域特性の把握や、豪雨災害の被害軽減方策とその評価等も視野に入れて研究を進展させることで成果が期待される。

名城大学 自然災害リスク軽減研究センター (NDRR)

研究進捗状況に対する意見書④

意見書作成者	所属： 名古屋大学減災連携研究センター	氏名 野田 利弘
--------	---------------------	----------

※ 該当するものを一つ選び，□に印 (■ 等) を付してください。
※ (意見等) 欄には，出来る限り意見等を記入してくださいようお願い致します。

(a) 研究の進展状況

当初の研究目的に沿って，着実に研究が進展しているか。

- 期待以上に進展している 着実に進展している
 やや遅れている 非常に遅れている

(意見等)

研究の目的である「水工学と地盤工学の研究分野の研究者が連携し，堤防の安全性評価の観点から沿岸域低平地における自然災害の被災リスクの軽減への挑戦を試みる。」については，この目的実現に向けた水工学と地盤工学の共同研究体制が整えられ，着実に実施されている。

(b) これまでの研究成果

① 当初の研究目的に照らして，現時点で期待された成果をあげているか。

- 期待以上の成果をあげている 期待された成果をあげつつある
 期待された成果をあげているとは 期待された成果をあげる見込みがない
いい難い

(意見等)

研究内容のうち「各種河道条件を考慮した越流破堤現象の解明」については，堤防の模型実験により破堤要因の検討が進められているが，実験条件の精査や精度向上をはかることで，今後の研究成果が期待される。「沖積低平地における堤防基礎地盤の海溝型地震時の震動特性の解明」については，東日本大震災における特に粘性土地盤上の破堤要因／メカニズムの解明・検証，砂質堤体強度算定のための力学試験の検証がなされ，一定の新たな知見を得ていると考えられる。「洪水ならびに地震時の堤防安全性照査技術の開発」については，現地堤防土を用いた数多くの室内実験を実施し，膨大なデータ分析が進められており，また，現地での地盤調査も精力的に実施されており，実務に直結した安全性照査手法の提案がなされるものと期待できる。

② 研究内容・研究成果の積極的な公表，普及に努めているか。

- 努めている
 不十分である

(意見等)

土木学会学術講演会講演概要集や地盤工学会研究発表会等で独創的かつ実用的な研究成果を数多く発表されており，積極的に公表に努めていることの一定の評価はできる。ただし，査読付き論文が现阶段で少数であり，このことは，公表すべく研究成果は備えつつも，「積極的な公表に努めているか」という点では不十分であることを示唆していると考えられ，あえて低い評価を選択した。早急に，学術雑誌などへの投稿を行い，成果公表すべきである。

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

これまでの研究により模型実験や力学試験の成果が十分蓄積されてきているので、今後の数値解析の実施や実際の堤防の評価開始などに十分繋がられていく段階にあると考えられる。

② 今後の研究計画・方法の妥当性はどうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください。

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します。

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる。
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる。
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない。

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います。

南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風などの巨大自然災害を控え、濃尾平野などの海拔ゼロメートル地帯を含む沿岸低平地での災害リスクを軽減する上で堤防強化がきわめて重要である。以下に堤防を守れるかで、その後の応急復旧・復興に大きく影響を及ぼす。この点で、掲げられた研究の有用性は疑いがなく、堤防は地盤と河川は相互作用的に影響を及ぼす点で研究体制として地盤工学分野と水工学分野で連携する点は評価でき、期待値が高い。

研究内容については、南海トラフ地震に対する愛知県被害予測において日光川付近で津波遡上前に堤体の破壊・沈下を示すことが予想されているが、本研究によりその予測がさらに高精度化されることが期待でき、その研究成果は高く評価できる。また、地震による堤体損傷後の水位上昇時の破堤は耐震性照査においてきわめて重要な視点であり、現状の耐震性照査で目をつむってしまっている点である。是非、早急な解明を期待したい。さらに、その事象だけではなく、豪雨時の地震による破堤のような複合災害についても、今後の研究を展開していただきたい。

名城大学 自然災害リスク軽減研究センター (NDRR)

研究進捗状況に対する意見書⑤

意見書作成者	所属： 岐阜大学	氏名 高木朗義
--------	----------	---------

※ 該当するものを一つ選び、□に印 (■ 等) を付してください。
※ (意見等) 欄には、出来る限り意見等を記入してくださいようお願い致します。

(a) 研究の進展状況
当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか。
 期待以上に進展している 着実に進展している
 やや遅れている 非常に遅れている
(意見等)
全体としては着実な進展と評価するが、テーマ5の研究内容は期待以上に進展していると評価できる。東日本大震災後長期にわたり被災者に寄り添いながら調査研究を継続されており、研究内容と合わせて、防災研究者としてのバイタリティは高く評価できる。

(b) これまでの研究成果
① 当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか。
 期待以上の成果をあげている 期待された成果をあげつつある
 期待された成果をあげているとは 期待された成果をあげる見込みがない
いい難い
(意見等)
全治としては期待された成果をあげつつある中で、テーマ5は期待以上の成果をあげている。特に、研究成果として提案されている「通訳型リーダー」は、大変良いアイデアであり、将来起こり得る大規模災害復興支援において有効であると思われる。

② 研究内容・研究成果の積極的な公表、普及に努めているか。
 努めている
 不十分である
(意見等)
近く書籍の出版を予定しているとのことで、研究成果の社会への還元についても、極めて努力している。

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

② 今後の研究計画・方法の妥当性どうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください.

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します.

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる.
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる.
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である.
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない.

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います.

テーマ5はすでに期待以上の成果を挙げており、今後も期待されるが、研究担当が1名であることが気掛かりである。テーマ5の周辺分野である都市計画系の研究者は名城大学に多数在籍しているものの、本プロジェクトに参画していないのはもったいない。防災・減災研究は、総合的な研究が必要であるので、もっと多くの学内の研究者が参画されることを期待したい。